



# あなたは、どんなことを考えましたか？

12月は、「人権週間」や「障害者週間」があり、人権について考える行事が全国各地で行われています。詫間中学校でも、12月10日（木）に人権集会を行い、それまで学習してきた人権の発表などから、再度人権について考えを深める機会をもちました。

なぜ人権について考えなければならないのでしょうか？

事前に、全校生徒を対象にしたアンケートは、次のような結果となりました。

- あなたには、困ったときに相談できる友達がありますか？  
たくさんいる（58.2%） いる（35.7%） あまりいない（4.4%） いない（1.7%）
- あなたは、友だちを傷つけたなと思うことがありますか？  
よくある（4.8%） ある（49.8%） あまりない（39.4%） ない（6.0%）
- あなたは友だちに勇気づけられたことはありますか？  
よくある（31.3%） ある（37.8%） あまりない（26.5%） ない（3.2%）
- あなたの周りでつらい思いをしている人を見たことがありますか？  
よくある（4.0%） ある（36.9%） あまりない（51.0%） ない（8.4%）

この結果を見てみなさんはどう思いますか？

なぜ人権について学習するのでしょうか？それは、詫間中学校をいじめや差別のない、誰もが楽しく通える学校にしたいからです。そして、差別や偏見のない社会にしたいからです。

「こころ」は誰にもみえないけれど

「こころづかい」は見える

「思い」は見えないけれど

「思いやり」は誰にでも見える

（「ACジャパン広告」より）

人は誰も、他人を思いやるこころや思いをもっています。差別や偏見に負けず、それを「こころづかい」や「おもいやり」という形にする勇気が大切です。

「差別や偏見をしない、許さない」意識を一人一人が忘れなければ、きっと、誰にとっても楽しい学校やすばらしい社会になることでしょう。



○江口いとさんの「人の値打ち」を久しぶりに聞いて、世間の目はその人の本質を見てはいなかった、ということが分かってとても心が揺さぶられました。自分は相手のことを思いやっているか、傷つけてはいないか、今一度振り返ってみようと思いました。

○校長先生が最後に言っていた「不安な子がいる時点でダメ」という言葉がとても心に残った。コロナにかかった人を差別するような行動はしないようにしたい。

○今日の人権集会を通して、差別は絶対にダメだと思いました。いじめ・偏見などが今になってもなくなるのが本当に醜いと思いました。生徒会の人たちが行っていた寸劇は、笑い事ではなく、今現実で起こっていると思うと、とても悲しいです。

○今、実際いじめられている人がいたり、つらい人がいたりする時、私はすぐに助けにいけるのかと考えてみると、自分もいっしょにいじめられてしまうのではないかと不安があるので、そんな自分のダメな気持ちはやめて、すぐに助けに行けるような人になりたいと思いました。

○今日の人権集会で、差別という言葉についてさらに深く考えることができました。私は、学校や社会でのさまざまな差別があるということ、たくさんの人に伝えたいと思いました。まだ、差別というのがどんなことなのかということを知らない人たちや、まちがった考えをもっている人たちに、伝えていきたいと思います。

○今日、人権集会を終えて、人権という言葉がある意味、差別が無くならないのはなぜか、いじめというものがどれだけ人を傷つけるかなど、様々なことをもう一度改めて考える機会になりました。たとえ、どんな小さなことでも、相手にとってはつらいことになるかもしれないし、また、それをきっかけにいじめの被害者にも加害者にもなり得る可能性があると思います。だから自分の言動をもう少し慎重に考えようと思いました。また、家族とも、今日学んだことを話し合いたいです。